

Hong☆무지개 ~虹~

・構成員

- 代表者 : 倉本真夢美 (国際文化学科 3年)
会計 : 吉武浩子 (国際文化学科 3年)
指導教員 : 林 炫情 (国際文化学科)
メンバー : 沖菜奈絵 (国際文化学科 3年) 酒井陽平 (国際文化学科 3年)
 中村彩佳 (国際文化学科 3年) 藤村菜美 (国際文化学科 3年)
 伊藤阿弥加 (国際文化学科 3年)

・プロジェクトの目的

- ・中国、韓国を身近に感じて興味をもってもらえるようにする。
- ・中国語、韓国語も専門的に学べることを宣伝し、大学の PR につなげる。
- ・自分たちの企画力をつける。

・活動内容

1. グローバル学生へアンケート

今後の活動に役立てるため、グローバル学生交流で日本に来た中国・韓国の留学生に、アンケートを実施しました。

【アンケート内容】

- ・日本で興味があることは何ですか？
- ・中国、韓国の代表的な料理は何ですか？
- ・日本人が中国、韓国に行ったとき知っておくと役立つことは何ですか？ など

これらの結果は主に県立大学フェスタ、きらら浜ミニジャンボリー2010、交流授業 I N 井関小学校での活動で反映させました。

2. 県立大学フェスタ

7月18日(日)、県立大学フェスタにて虹プロジェクトのブースを設けました。当日はおおよそ100名の方に訪れていただき、中国・韓国について知っておくと役に立つ手作りの豆知識パスポートや、中国語・韓国語による名刺をプレゼントしました。

また、展示や遊びの紹介などをして、中国・韓国の文化を広めると同時にたくさんの方に興味をもってもらうことができました。



3. なつやすみの宿題楽しく学ぼう会

8月20日（金）、山口県立大学桜翔館にて小学生に中国の文化をしってもらう授業を行いました。小学生に事前に準備しておいた授業用の教科書に日本と中国の国旗を描いてもらったり、パンダの絵を描いてもらったりしました。活動時間は約40分と短い時間でしたが、小学生の元気と素直さを感じました。私たちが何か質問をすると、小学生たちの手が次々に挙がり、私たちが何か問題を出すと、すぐに全員が作業に取り掛かってくれました。

中国語のあいさつの練習では、皆大きな声であいさつをしてくれました。レクリエーションが始まる前は、皆がうまく盛り上がってくれるか心配でしたが、その心配はすぐなくなり、とても楽しく進めることができました。小学生は中国の文化に大変興味を示してくれ、最後には楽しかったという声を聞くことができたので、中国に対してよいイメージを持ってもらえたと思います。

今回たくさんの小学生から楽しそうな笑顔とあいさつをもらいました。またこのような機会があれば、ぜひ参加させていただきたいと思いました。

本当に楽しい時間でした。



4. 野田学園文化祭

9月4日（土）、野田学園高等学校の文化祭にて中国・韓国についての展示をさせていただきました。野田学園の生徒さんだけでなく、保護者の方、先生方にも御来場いただき、中国や韓国について知っていただくことができました。韓国の展示物を見ながら、「韓国では、マクドナルドのデリバリーがあるんですよ。」と説明すると、驚いた様子で写真を見る方もいらっしゃいました。

また、6月にグローバル学生に行ったアンケートをもとに作成した高校生の一日のスケジュールを見て、家にいる時間より学校にいる時間が長く、勉強量もとても多い韓国の高校生にとっても驚かされていました。

この文化祭ではたくさんの方々にご来場いただき、展示物の説明や、その他の文化も紹介することができ、中国・韓国についてかなり理解を深めてもらえたのではないかと思います。



5. きらら浜ミニジャンボリー2010

10月31日(日)、ボーイスカウトの子供たちに、体を動かす異文化体験をしてもらうため、中国と韓国の伝統の遊びである、中国の羽けり、韓国のチェギチャギという遊びを体験してもらいました。ブースには約100名の子供たちが来てくれました。みんなやり始めたらとまらず、熱中して取り組んでくれました。一度、私たちのブースを訪れた子が、再度、私たちのブースに来てくれたり、ブースに展示しておいた韓国の漫画に興味をもってくれる子もいたりしたので、とても嬉しかったです。実際に体を動かして、異文化に触れあうことで、子供たちの記憶に残る体験になったのではないかと思います。



6. 華月祭

11月6日(土)、県立大学の文化祭にて虹プロジェクトとして韓国・中国の食文化体験の模擬店を出店しました。両国の本場の味を知って食文化体験をしてもらうべく、韓国は日本でいう揚げパンとおやきが合体したようなものの中に、アツアツの蜜がたっぷり入ったホットク、中国は日本で親しみのある水餃子をセットとして、150円で売りました。看板にある韓国語、中国などに興味を持って下さった方がたくさんいらっしゃって、大好評で見事、完売させることができました。中には韓国語や中国語で「おいしい。」とおっしゃって下さる方や、ホットクを初めて見て半信半疑で食べてみられた方で、「おいしい！韓国って辛い料理しかないと思っていたよ。韓国に行ってみたいな。」とおっしゃって下さった方もいらっしゃいました。ホットクも水餃子も異文化を体験するにあたって、わかりやすい「味」という点から広く知ってもらえたと思います。



また、店の周りでは韓国と中国についての展示を行い、自由に閲覧できるようにし、質問も受け付けました。「味」から異文化体験をされたことによって、その国に対する興味・関心が湧いた方も多くいらっしゃったように感じました。

食文化は、直接その国に行かなくても気軽に味わうことができる最も身近な異文化体験であると思います。ですので、今回の「味」を通して、韓国・中国の食文化を味わい興味・関心を持っていただけたと思います。

7. 交流授業 I N井関小学校

12月27(月)、山口市立井関小学校にて異文化体験授業を開催しました。

午前中は、調理実習で、午後から授業、しめ縄作り、伝統遊び、〇×ゲームをしました。調理実習では、日本のお汁粉、中国の水餃子、韓国のチヂミを作りました。それに加えて、にこにこクラブの方がおにぎりを準備して下さい、充実した昼食になりました。

授業では、「日本一受けたい授業 in 井関にこにこクラブ」という題で、私たちが中国・韓国についてオリジナルでまとめたノートをもとに、基本的な中国・韓国の内容を紹介しました。子どもたちは、興味津々に授業を受けてくれました。

伝統遊びでも、子どもたちは我先にといった感じで遊びに夢中になり、中国・韓国の伝統遊びに熱心に取り組んでくれました。

地域の方のしめ縄作りにも参加させて頂き、今回の異文化体験授業では、中国・韓国の「食文化」「生活」「歴史文化」、加えて「日本の伝統文化」をも子どもたちや地域の方と共に体験できた素晴らしい一日となり、各国の文化を伝える大変よい機会になりました。



・成果及び感想

「日中韓の架け橋になろう」と始まったこの虹プロジェクトは、初めての試みであったため、戸惑う部分が多くありましたが、今この一年を振り返ると、始動当初予定としてあげていなかったプロジェクトも遂行することができ、とても充実していたのではないかと思います。活動を通して、挑戦することの大切さ、プロジェクトを一から立ち上げ、物事を遂行することの難しさ、人と触れあうことの素晴らしさを感じました。

私たちの活動によって、中国・韓国をもっと身近に感じていただけるようになったと思います。まだまだ、中国・韓国を遠い存在と考える人も多くいると思うので、今後もこの活動を続け、日中韓の架け橋となっていきたいです。

私たちの活動は、沢山の方々のご協力により、達成することができました。ご協力いただいた皆さま本当にありがとうございました。

・指導教員のコメント

異文化への旅は自分を探するための旅でもあります。違いを違いとして認識し、多様性と異質性を尊重し合うことが、新しい価値を創造していくための原動力になると思います。

大学での学びを生かし、地域の国際化、活性化を促す起爆剤になるよう、期待しています。

また、その活動のなかで、「観察→発見→創造」の経験を繰り返しながら、皆さん自身の役割や価値を是非見つけていただきたいと思います。

・収支報告

配分額	100,000 円	
支出内訳	コピー代	68,920 円
	文房具代	8,945 円
	調理・試作代	20,127 円
		円
支出合計	97,992 円	
残金	2,008 円	